

藤村庸軒をめぐる人々

白寄顕成 著

▶A5判・774頁／定価17,325円 (税5%込) ISBN978-4-7842-1554-6

2011年3月刊 好評発売中

藤村庸軒は、儒者・儒学者であり、漢学・和学にわたる広い教養と、卓越した美的センスにより、漢詩・和歌・作庭・花道・茶具の製作に才能を発揮した。その交流も多岐にわたり、今なお様々な面から庸軒に関する資料が発見されている。

本書は、一族の人々・門弟達・儒教の師・茶道の師・友人の儒者・医師達の事蹟をたどることで、現在も続いている庸軒流の開祖、藤村庸軒の実態について新たな角度からのアプローチを試みる。巻末には「藤村庸軒流系譜」を収録。

内容目次

三宅亡羊 — 漢学の師 —

藤村宗佐と三宅亡羊／三宅亡羊の生涯／近衛家と三宅亡羊／漢学の師三宅亡羊
三宅亡羊と藤村庸軒／三宅亡羊と禅僧たち／三宅亡羊の茶

千宗旦 — 茶道の師 —

はじめに／宗旦の茶の教え

藤村恕堅 — 庸軒長男 —

はじめに／歌人恕堅／俳人倫員／茶人恕堅／恕堅の死

藤村正員 — 庸軒三男 —

はじめに／大坂関東屋／正員の妻英順／藤村正員の息子たち／正員の母加那／顕岑院所蔵の正員資料／正員の茶道具と茶書

久須見疎安 — 庸軒娘婿 —

久須見一族について／庸軒と久須見疎安／久須見疎安著『聞書』写本について

北村幽安 — 庸軒門弟 —

はじめに／幽安の家系と祥瑞寺歴代／幽安と庸軒／幽安の茶／歌人政従／俳人幽安

山本退庵 — 庸軒の門人 —

はじめに／茶人山本退庵 — 『反古庵聞書』(『茶席夜話』) — / 『反古庵聞書』翻刻
藤村庸軒と山本退庵／山本退庵の門人と『矢倉蔵帳』／香聞としての山本退庵

大文字屋宗積 — 庸軒縁戚 —

はじめに／大文字屋宗積『先祖記』二巻二冊 (東北大学付属図書館狩野文庫蔵)

有馬涼及 — 庸軒の友人 —

はじめに／有馬涼及／医家としての有馬家代々

田屋横井等怡 — 庸軒の義父 —

はじめに／横井一族／桂宮智忠親王と田屋横井等怡／田屋貞永と中山三柳・三宅可三

藤村庸軒流系譜

(しらすき けんじょう) 1941年京都・顕岑院に生。京都大学大学院文学研究科修士課程(宗教学仏教学専攻)修了。密教図像学会常任委員。京都花蓮研究会会長。神戸女子大学教授。『蘭室藤村正員年譜考』(思文閣出版, 2003年)。『藤村庸軒年譜考』(思文閣出版, 2009年)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 【2011年6月27日より左記に移転】 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	藤村庸軒をめぐる人々	本体16,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1554-6	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)			書店番線印	

藤村庸軒年譜考

[全2冊]

白奇顕成著

藤村庸軒(1613-1699)は儒者・儒学者で広い教養と卓越した美的センスにより漢詩・和歌・作庭・花道・茶具の製作に才能を発揮。創意工夫による独自の茶の技を展開し道としての解脱に至り、庸軒流茶道を完成。彼の生涯の動向を文献学的方法に基づき歳毎に明かした異色の年譜考。

▶A5判・総1848頁／定価 36,750円 ISBN978-4-7842-1456-3

蘭室藤村正員年譜考

白奇顕成著

庸軒流茶道の祖、藤村庸軒の三男藤村正員(1650~1733)の事跡について自著『蘭室草』の収録作品(漢詩・和歌など)にそいながら、生涯の動向を歳ごとに明かす異色の年譜考。京坂の茶人・文人たちとの交わりは茶道を軸とした近世文化史の一側面を伝える趣きを備えた一書。

▶A5判・480頁／定価 6,090円 ISBN4-7842-1173-X

広瀬旭荘全集 詩文篇

岡村繁・井上敏幸編

江戸末期折衷派の儒者、広瀬旭荘の日記(日間瑣事備忘)を中心に詩文・随筆・書簡まで全て網羅したシリーズ。同時代清の文人・愈曲園に「東国詩人の冠」と評されるほどであったその詩業・文筆活動を集成。

▶B5判・892頁／定価 31,500円 ISBN978-4-7842-1490-7
既刊 日記篇①~⑨・随筆篇 揃定価 149,100円**江月宗玩 欠伸稿 訳注** [全2冊 乾・坤]

芳澤勝弘編著／江月宗玩原著

江月宗玩の語録の龍光院蔵自筆本を翻刻。分量的には影印で公刊の写本「孤蓬庵本」のほぼ半量だが「孤蓬庵本」にはない偈頌などを収録。その中には私的なものも多く、江月の人柄を示すとともに多くの文化人との交流を記録し、文化人の消息を窺う貴重資料。

▶A5判・乾 640頁・坤 770頁／定価 各 9,975円

武野紹鷗 わびの創造

戸田勝久先生喜寿記念論集刊行会編

裏千家今日庵業躰であり教授者(茶名宗安)と併せて、永年茶の湯研究に従事してきた氏の喜寿記念に、武野紹鷗を基軸として、斯界の論者24人が原稿を持ち寄る。【内容】第一部 紹鷗像とその茶の伝統／第二部 禅と文芸／第三部 好みとわびの表現／第四部 武野紹鷗に寄せて

▶A5判・614頁／定価 12,600円 ISBN978-4-7842-1471-6

増補 蓮月尼全集

村上素道編

幕末・明治の歌人大田垣蓮月は二度結婚するも恵まれず、33歳で出家。多芸で作陶と和歌に才能を発揮し、歌人たちとの交流の中で閑雅・清新な作風を磨く。歌・消息・伝記を収めた『蓮月尼全集』に、新発見の歌集、書画帖(花くらべ)、消息53通を増補した昭和55年版の復刊。

▶A5判・770頁／定価 12,600円 ISBN4-7842-0182-3

佐治重賢氏所蔵 小堀政一関係文書

佐治家文書研究会編

総点数7千点の文書の内、特に近世前期政治史に重要な位置を占め、茶人としても著名な小堀政一(遠州)に関わる文書を三部構成で翻刻・収載。国奉行・代官の史料としては希有のもので、近世初期の幕領支配の様子を知る事ができると共に茶人としての政一を知る必須史料。

▶A5判・390頁／定価 9,240円 ISBN4-7842-0921-2

***江馬細香来簡集**

江馬文書研究会編

1787年美濃大垣の蘭医蘭斎の娘として生れた細香。女流漢詩人、文人画家であり、師である浦上春琴や頼山陽、詩友、江馬家ゆかりの人々と多くの書簡を交わした。江戸末期に志を同じくする人々と自由に往き来し精神の自立を獲得した知的な女性の姿が窺われる。

▶A5判・364頁／定価 8,925円 ISBN4-7842-0508-X

茶譜 [全2冊 本文・資料篇] 茶湯古典叢書5

谷晃・矢ヶ崎善太郎校訂

近世茶書として最も大部にして体系的なものの一つである茶譜(全18冊)は利休・織部・遠州・宗和・宗且のそれぞれの茶匠とその時代の茶の湯を確かな情報に基づいて茶の湯の分野ごとに再編集したもの。西尾市岩瀬文庫蔵本を底本とし現存する諸本と校合して全編活字化。

▶A5判・総924頁／定価 21,000円 ISBN978-4-7842-1528-7

建築史論聚

中村昌生先生喜寿記念刊行会編

日本建築の歴史的伝統を把握してこそ、新時代の建築を創造できるとした建築史学の泰斗・中村昌生氏(京都工芸繊維大学名誉教授)の喜寿記念。薫陶を受け研鑽を重ねてきた研究者たちが論文を持ち寄る。寺社建築／茶室／建築生産史・都市史／近代建築についての15篇。

▶A5判・590頁／定価 9,450円 ISBN4-7842-1202-7

***近世御用絵師の史的研究 幕藩制社会における絵師の身分と序列**

武田庸二郎・江口恒明・鎌田純子編

御用絵師が、全国的官位官職制度の中にどのように組み込まれていたのか、時の為政者は職能集団たる絵師の組織をどのように編成、掌握していたのか、絵師たちは自家の繁栄のために、どのような身の処し方をしていったかを論じる。

▶A5判・458頁／定価 7,875円 ISBN978-4-7842-1392-4

***茶道と恋の関係史**

岩井茂樹著

「恋は茶道の精神に反する」とされた——谷崎潤一郎の随筆にある興味深い一節をきっかけに恋歌と茶道の関係を茶書や茶会記に探る。茶会の掛物のほか茶道具の銘に隠された「恋」を紹介し、なぜ恋歌が問題となり、使われることもあったのかを解明。

▶A5判・232頁／定価 3,990円 ISBN4-7842-1313-9

隔莫記 [全7巻／本篇6冊・総索引1冊]

本篇：赤松俊秀校訂／総索引：『隔莫記』研究会編

鹿苑寺住持鳳林承章による寛永12(1635)年から寛文8(1668)年までの自筆日記で、近世文化揺籃期の社会相を知る最重要史料を活字化。承章の交際範囲にとどまらず、その内容はきわめて広範で、17世紀中ごろの政治・経済・社会はもとより、文芸や芸能においても必読。

▶A5判・総5130頁／定価 73,500円 ISBN4-7842-1311-2

隔莫記 総索引

『隔莫記』研究会編

『隔莫記』全6巻の膨大な情報を索引として刊行。人名(8000)・事項(8800)・社寺名(550)・地名(500)に分けて編集。人名索引は別称・異称・官位官職・寺院名・姻戚・師弟関係・居住地や鳳林・校注者の誤り等を併記。事項索引には陶磁器・園芸・建築・書画などの諸分野の項目を収録。

▶A5判・760頁／定価 14,700円 ISBN4-7842-1312-0

寛永文化のネットワーク「隔莫記」の世界

冷泉為人監修／岡佳子・岩間香編

『隔莫記』を通して近世文化のルネサンスと呼ばれる寛永文化の華やかな展開を重層的にとりあげる。「ひと・つどう」「あそびと場」「もの・かたる」の3つテーマに各10篇ずつ収録。カラー24頁のほか挿図多数。

▶B5変・340頁／定価 3,990円 ISBN4-7842-0945-X

名家伝記資料集成

[全5巻]

森繁夫編

短冊の蒐集、伝記研究で知られた森繁夫氏が調査編集した草稿を短冊、古筆など古典籍の蒐集で著名な中野庄次氏が浄書、補訂したもの。鎌倉末期から昭和20年までに没卒した国学者・歌人・漢学者・文人・高僧・芸術家・政治家・志士等の45,000名の伝記資料を集大成。

▶A5判・総5400頁／定価 136,500円 ISBN4-7842-0682-5

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。